

エネルギー分野における 日本のリーディングカンパニーを目指して 「power with heart」の想いで、全力で取り組んでまいります

高浜発電所3、4号機の運転再開、電気料金の値下げ、「関電ガス」の販売などに、グループ一丸となって着実に取り組むことで、平成29年度第2四半期個別決算は3年連続の黒字となり、中間配当を実施することができました。



取締役会長 **八木 誠**

取締役社長 **岩根 茂樹**

株主のみなさまには、常日頃、格別のご高配を賜わり、厚く御礼を申し上げます。

第2四半期は増収減益 中間配当は15円といたしました

平成29年度第2四半期決算の連結収支につきまして、売上高（営業収益）は1兆5,485億円、経常利益は1,578億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,152億円となりました。（詳細は6頁に掲載）

当年度の中間配当につきましては、最近の経営環境を総合的に勘案の上、1株当たり15円といたしました。

8月1日から電気料金を 値下げいたしました

高浜発電所3、4号機の運転再開による火力燃料費などの削減分と、経営効率化の深掘りの成果などにより、8月1日から、関西のすべてのお客さまの電気料金を、平均で4.29%値下げいたしました。

大飯発電所3、4号機の本格運転実現後には、さらに値下げを実施し、価格とサービスの両面で、引き続きお客さまから信頼され、お選びいただけるよう、全力を尽くしてまいります。

「関電ガス」のお申し込みが 27万件を突破しました

本年4月からガスの小売全面自由化が開始し、「関電ガス」について、10月末時点で、初年度の販売目標を上回る約27万件のお客さまにお選びいただきました。

また、さらなるガス販売拡大を見据え、堺港発電所に新たに設置した熱量調整設備を稼働させることで、ガス供給能力の強化も図っています。

今後とも、電気だけでなく、ガスもセットでお届けする総合エネルギー事業者として、お客さまに最適なエネルギーをお選びいただけるよう取り組んでまいります。

新たな成長に向けた取組みを 加速しています

新たな成長の柱の確立に向け、米国ペンシルベニア州の天然ガス火力発電事業や、アイルランド共和国の風力発電事業への参画など、国際事業にも積極的に取り組んでいます。また、情報通信事業では、FTTHサービス「eo光」の着実な進展に加えて、携帯電話サービス「mineo（マイネオ）」の加入件数を確実に伸ばしています。

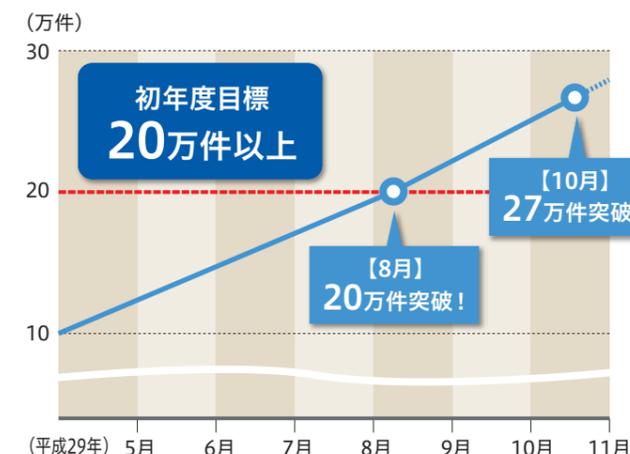
引き続き、こうした取組みなどにより、グループ全体のトップライン向上に努めてまいります。

「中期経営計画」の実現に向けた取組み をグループ一丸となって推進します

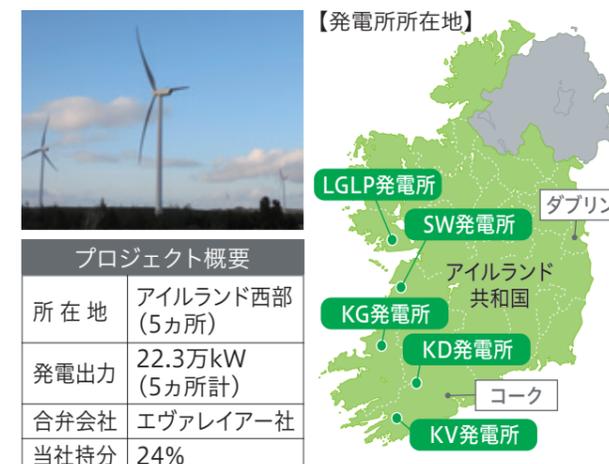
エネルギー分野の競争が激化するなか、当社グループは、本年4月に策定した「中期経営計画達成に向けた重点取組み（2017）」をグループ一丸となって強力に推進し、みなさまから信頼され、選ばれて成長し、エネルギー分野における日本のリーディングカンパニーとなることができるよう「power with heart」の想いで、全力で取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

関電ガスお申し込み件数の推移



アイルランド共和国風力発電事業



当社にとって初めての欧州での発電事業、かつ海外で初の再生可能エネルギー事業（風力発電事業）となります。

「中期経営計画達成に向けた 重点取組み（2017）」の概要

【計画達成の前提】：安全最優先の全う

- (1) お客さまにお選びいただくための取組み～トップラインの向上
- (2) コスト構造改革の加速・深掘り
- (3) 安全を最優先にした原子力再稼働と安全・安定運転
- (4) 将来の成長に向けた経営基盤の整備
- (5) 「働き方」改革と健康経営の一体的推進